

学習内容報告書 フォーマット

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 学校名 | 能登町立松波小学校            |
| 授業者 | 河元 友子, 鱈渕 智之, 尾間谷 悦子 |

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

1年「生きもの大すき」 2年「生きものといっしょに」 ～磯遊びを通して海の生き物に親しもう～

1-2. 学年

1年, 2年

1-3. 教科 (単元を実施する教科を全てお書きください)

生活科 (遠足)

1-4. 単元の概要

生き物と触れ合ったり世話をしたりする活動を通して、生き物の育つ場所、変化や成長の様子について興味・関心をもって働きかけ、それらの成長や命の尊さに気付くとともに、生き物を愛着をもって大切にすることができるようにする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

校区の周りには豊かな里海がある。のと海洋ふれあいセンターの「屋外タッチプール」では、九十九湾の生きものを観察したり採集したりと、海の生きものに親しむ環境に恵まれている。生きものに親しみをもち、生きものにも生命があることに気付くことができるようにする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

生き物に心を寄せ、愛着をもって接するとともに、生命あるものとして生命尊重の態度を育てる。

1-7. 単元の展開（全 時間）

| 時<br>数                          | 学習活動・主な内容  | 教師の指導 / 主な評価<br>外部連携 / 使用教材等  |
|---------------------------------|--|---|
| 1<br>・<br>2                     | 学校探検での生き物との出会いや、これまでの飼育経験を生かして、生き物を探す。                       | 学校探検や今までの生活を振り返り、生き物が住んでいそうな場所を考えて生き物に会いに行く計画を立てている。【思判表】<br>身近な生き物に関心をもち、その生き物に関わろうとしている。【態】   |
| 3<br>・<br>4<br>・<br>5<br>・<br>6 | 学校の中や校庭、近くの公園などに生き物を探しに行く。<br><br>生き物の気持ちを考えて触れ合ったり、観察したりする。 | 生き物の形や動き、えさや住みかに合った世話の仕方に気付いている。【知技】<br>生き物との関わり方を自分なりに考えたり、観察したりしながら、発見したことなどを記録カードにかいている。【思判表】<br>生き物に関心をもち、進んで生き物に触れたり、世話をしたり、遊んだりしようとしている。【態】 |
| 遠<br>足                          | 諸感覚を通して里海の自然と触れ合う。<br>・のと海洋ふれあいセンターの海辺行き、里海の自然と触れ合う。         | ・事前に、のと海洋ふれあいセンターの職員の方に、どのようなねらいをもっての学習なのか、打ち合わせをしておく。<br>・救命胴衣   |
| 7<br>・<br>8                     | 生き物との触れ合いや関わり合いを振り返り、生き物の様子を伝え合う。                            | 仲良くなった生き物も、自分と同じように命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみが増し、上手に世話ができるようになった自分に気付いている。【知技】<br>仲良くなった生き物の様子や世話の仕方について振り返り、自分なりの方法で伝えている。【思判表】                  |

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

身近な海の生き物に親しむ。

### 2-3. 本時の展開

| 主な学習活動 / 反応   | 教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）                            |
|---|---|
| <p>1. 3D シアターで能登の海についての映像を視聴する。</p> <p>2. 海洋ふれあいセンターの屋内で展示品を見て、タッチプールでナマコ、ヒトデ、魚などに触れる。</p>  <p>3. 屋外で磯観察、磯遊びをする。</p>  <p>4. 遊覧船に乗って九十九湾を一周する。養殖場で魚のえさやりを体験する。</p>  | <p>・のと海洋ふれあいセンターの方に諸注意、海の生き物についての話をさせていただく。</p> |

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・進んで里海の自然と触れ合い、身近な自然の動植物に親しみをもつことができた。
- ・実際に船に乗って海に出たことで、潮の香り、風を感じることもできた。海の中での生きものの様子や湾の中の風景、また、陸上から見えるものが海から見るとどのように見えるのかなど、多くのことを児童は発見することができた。

### 4. 今後の課題

- ・屋外での体験活動は、天候に左右されることがあり、予定通りの日に行くことが難しい。
- ・学校行事（遠足）が単発的になり、生活科の内容との関連が薄かった。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・今回は秋に一度遠足として取り組んだ。当初の計画では、夏と秋に活動を行う予定であったため、1年生は季節によって変わる磯の違いに気づくに至らなかった。また、2年生は海藻や生き物の採集をする活動ができなかった。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝，10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm，左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。